

化学及血清療法研究所の不正行為について

2015年12月4日
日本製薬工業協会
会長 多田 正世

一般財団法人化学及血清療法研究所（以下「化血研」という。）が製造する血漿分画製剤について、承認書と異なる方法により製造されていた不正行為に関し、今般、長年にわたり組織的に隠ぺいしていた事実が判明した。虚偽の製造記録の作成、化血研歴代幹部が隠ぺい行為等を漫然と放置するなど、極めて重大かつ悪質な法令違反と言わざるを得ないものである。

当協会としては、当局の対応も見極めつつ、化血研に対し厳正に対処する所存である。

また、今回の事案を深刻に受け止め、改めて会員各社に対して法令遵守の徹底を図り、当業界において2度とこのような事態が生じることのないよう活動していく決意である。